

様式2 活動計画表

氏名 小池 毅 隊次 2024 年度 1次隊 記入日 2025 年 2 月 27 日
 職種 PCインストラクター

派遣国 南アフリカ共和国			
重点分野	教育	開発課題	学校全体へのICT教育の拡充
ボランティア事業による取り組み		ICT教育を通じた生徒たちの学力向上及び機器の有効活用	
期待される成果	1. 生徒にICT機器に触れる機会を提供し、将来の人生設計における視野を広げ、職業への展望を深める。 2. 教員が日々の授業でICT機器を有効活用し、映像や音声を効果的に使った授業展開ができるようにする。		
配属先の目標	1. 生徒へのICT機器の活用機会の提供 2. 教員が授業でICTを効果的に活用できるスキルの向上		

JICA海外協力隊の活動目標 ICT機器を活用した効果的な教育活動が継続して実施される。		補足説明(目標設定経緯や留意点等) 定期的に授業アンケートや業務アンケートを実施し、生徒及び教員からのICT活用能力の向上、意識の変化を調査する。調査内容をもとに授業の改善や提案を進めていく。また、調査結果は適宜、校長を含めた教員と共有し、現在の指導方法とICT機器を組み合わせた指導方法を提案していく。							
モニタリング指標 授業を担当する生徒約500名及び所属校教員約30名		1年目				2年目			
# 目標達成のために必要な成果・モニタリング指標		I	II	III	IV	I	II	III	IV
(#) 具体的な活動									
1 ICT機器を活用した効果的な教育活動を行う。 モニタリング指標: 授業を担当する生徒約500名	(補足事項・留意点) 定期的に生徒へ実施するアンケートの項目において、生徒が感じているICTスキル向上に対する重要度をパーセンテージに変換し指標とする。								
(1) 任地の所属校生徒に対してICT教育を実施する。		9	10	11	12	1	2	3	4
(2) PCルームを整備し、自発的な学習ができる環境を整備し指導する。									
(3)									
必要なリソース(機材・資金等):									
2 ICT機器を活用した効果的な指導及び業務効率化がなされる。 モニタリング指標: 所属校教員約30名	(補足事項・留意点) 定期的に教員へ実施するアンケートの項目において、教員が感じているICT機器に対することや、期待していることを参考に数値化し提案していく。								
(1) 教員に対するICT機器を活用した指導方法を提案、指導する。		9	10	11	12	1	2	3	4
(2) PCルームを整備し、生徒が自発的に学習ができる環境を整備し運営する。									
(3)									
必要なリソース(機材・資金等):									
3 「柔道」競技を通じて忍耐力、学習規律を醸成し、平素の活動を円滑に進められるようにする。 モニタリング指標: 「柔道」教室参加希望生徒	(補足事項・留意点) 平日の放課後、希望者を対象に「柔道」教室を実施する。								
(1) 放課後に空き教室にて「柔道」教室の活動を実施する。		9	10	11	12	1	2	3	4
(2)									
(3)									
必要なリソース(機材・資金等):									
# その他考慮すべき目標達成のために必要な成果(任意)	(補足事項・留意点)								
4									
5									

本資料は第2号報告書に添付してJICA事務所/支所に提出してください。